

目次

ご挨拶

千總文化研究所 代表理事 西村總左衛門 ————— 002

〈第1章〉 結ぶ——千總の文化

千總文化研究所の活動方針 ————— 008

千總の有形・無形の文化財

千總コレクションについて ————— 010

千總の技術について ————— 022

〈第2章〉 見つめる——研究活動

[研究会]

京都の伝統技術を未来へ繋ぐプロジェクト ————— 028

【研究発表1】

「古法と現法による染織原材料の特性の違いについて —生糸の製糸・製織方法を中心に—」 ———— 030

東京文化財研究所 保存科学研究センター修復材料研究室 室長 早川典子

東京文化財研究所 無形文化遺産部 主任研究員(当時) 菊池理予

【研究発表2】

「アクリル板とデジタル技術を用いた夾纈染めの復元研究」 ————— 031

神戸芸術工科大学 教授 ばんばまさえ

京都の装束文化の魅力を再発見プロジェクト ————— 032

【研究発表】

「真宗大谷派の歴史と文化——姫路船場別院本徳寺と東本願寺の関係性を中心に」 ————— 034

同朋大学仏教文化研究所 所長 安藤 弥

【調査報告】

「姫路船場別院本徳寺所蔵の千切屋惣左衛門が手がけた染織品について」 ————— 042

真宗大谷派 圓正寺 住職 山口昭彦

中世日本研究所 所長 モニカ ベーテ

千總文化研究所 所長 加藤結理子

[史料・技術研究]

製織工芸、科学、近代の図案『景年花鳥画譜』	058
コロラド大学ボルダー校 アジア美術史学 助教授 ステファニー スー	
江戸時代の手織り縮緬の復元と新たな展開 —千總コレクションの調査・分析を踏まえて—	072
嵯峨美術大学 准教授 上田 香	
近世期の小袖雛形本『正徳ひな形』を読み解く—西川祐信雛形本研究会—	084
国際日本文化研究センター 特任助教 石上阿希	
絞り花鳥図屏風	088
千總文化研究所 所長 加藤結理子	

〈第3章〉繋ぐ—催事

[特別鑑賞会・講演会]

千總コレクションと共に、日本文化の未来を考える 第5回	
「千總と美術染織 —新たな時代に求められた美と技—」	094
講師：宮内庁三の丸尚蔵館 学芸室主任研究官(当時) 太田 彩	
千總コレクションと共に、日本文化の未来を考える 第6回	
「千總と森口邦彦 —友禅の魅力とともに—」	112
講師：森口邦彦	
社会活動	124
展覧会協力	125
謝辞／研究所基本情報	126